

釧路南ロータリークラブ会報

第15回 例会報告 2009.10.23 通算1321回

・点 鐘

工藤会長

・ロ - タ リ - ソング 「我等の生業」



ソングリーダー 小野 一明会員

皆様こんにちは。先週は、家族同伴観楓会例会と言う事で、温泉と料理と紅葉に、心も身体も癒されました。また、会員11名とご家族6名の合計17名の参加、誠にありがとうございました。私家族4人は日曜日、雨も上がったので遊覧船に乗ってまりも見学と紅葉見学をしてみました。またまた、クーチャンらしきラッコが根室に現れたみたいですが、あのクーチャンが釧路に戻って来てくれたら、釧路も少しは景気回復出来るのではと願います。さて、新型インフルエンザが大流行です。保育園・幼稚園・小学校・中学校など学級閉鎖・学年閉鎖で秋の学芸会の練習ができず、1ヶ月遅れになっている学校や修学旅行も延期となっている学校など出ているみたいです。皆様も、お身体には十分お気をつけ下さい。

・結 婚 祝

木内 治彦会員 S62.10.17 (22年目)



・会 長 換 撈



・幹 事 報 告



- * 厚岸RC、別海RC、浜中RC、釧路西RCより10月のプログラムと会報を拝受しております。
- * 根室RC、中標津RCより10月プログラムと月報を拝受しております。
- * 柴田ガバナーエレクトよりRI第2500地区ガバナーエレクト事務所開設の案内を拝受しております。
- * 本日例会終了後、理事会を開催いたします。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

木内 治彦会員 結婚祝として

出席委員会

会員 25 名 10 名出席メイキャップ 0 名 40%

・本日のプログラム

「米山記念奨学会月間に因んで」

担当 米山記念奨学会委員会

原田米山委員長



ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

なぜ、“外国人留学生”を支援するの？

留学生といっても今の時代、お金の困ってる人は少ないみたい。支援する意味はあるの？

今の時代だからこそ、支援の意味があります。

私たちの奨学金は、“お金”ではなく、“平和の心”を育む国際奉仕事業だからです。

半世紀にわたって受け継がれている事業

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい...という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」

(『ロータリー米山記念奨学会史』より)

日本のロータリーによる多地区合同奉仕活動

クラブ単独事業として始まったこの事業は、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には文部省(当時)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。50年以上の歴史を持ち、世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。

未来へかける平和の懸け橋。 米山記念奨学事業の主役はあなたです！

特長・その1 日本最大の民間奨学事業

年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.4億円(2008年度決算)と、国内では民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で1万5,130人(2009年4月現在)。その出身国は、世界116の国と地域に及びます。

特長・その2 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリーとの深い交流と精神的ケアを重視しています。奨学生一人ひとりに、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらにその会員の中からカウンセラーが付いて日常の相談役となり、奨学生の留学生活が心豊かなものになるように配慮しています。例会に参加したり、地域の奉仕活動を体験できるのもロータリーならでは。奨学生にはかけがえない経験となると同時にロータリアンにとっても、米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。

・次回のプログラム

10月30日(金)

「ゲスト講話」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：新世代委員会

・点 鐘 工藤会長

今週の会報担当：佐藤玄史会員